第1回 白鳥台地区 あたらしい学校教育推進協議会_会議録概要

日　時	令和4年10月20日（木）19:30～20:35
場　所	白蘭小学校　1階多目的ホール
出　席	別紙出席者名簿のとおり 市教委：伊藤教育長、坂口教育部長、西舘教育部次長、髙田教育指導参事、椎名指導主事、棟方指導主事、山﨑生涯学習課長、山口学校教育課長、松尾学校教育課学務係長、山本学校教育課教職員係長、土橋総務課総務係長、菊地総務課総務係主事、松浦総務課総務係主事
内　容	配布資料　※2～10は事前に資料を配布 1．委員会次第 2．白鳥台地区あたらしい学校教育推進協議会設置要項（案） 3．白鳥台地区あたらしい学校教育推進協議会 委員（案） 4．「白鳥台地区あたらしい学校教育推進協議会」　開催計画案 5．これからの学校づくり検討委員会の報告書について 6．これからの学校づくり検討委員会　報告書 7．令和4年度　小中学校児童・生徒数の推計 8．令和16年度までの、各小中学校の児童生徒数の推計値 9．それぞれの考え方の比較（メリット・デメリットなど） 10．これからの学校づくり検討委員会の経過と白鳥台地区の学校教育について 次第 1．教育長　挨拶 2．委員紹介（事務局から）、事務局職員自己紹介 3．市教委からの説明（これからの学校づくり検討委員会 報告書の説明） 4．意見交換 5．その他 内容 1．教育長　挨拶 伊藤教育長　挨拶 2．委員紹介 配布資料2及び3は、委員全員から承認を得た。 3．市教委からの説明 ・本協議会について：坂口教育部長説明 ・これからの学校づくり検討委員会の報告内容と義務教育学校について：髙田教育指導参事説明 4．意見交換 〇私も、この白鳥台地区に義務教育学校を導入したらどうかという結論に至るまで、これからの学校づくり検討委員会の委員として参加してまいりました。パワーポイントで説明がありましたように、大沼岳陽学校の見学に行ってまいりました。1年生から順番に教室を見学しましたが、9年生（中学3年生）の成長がよくわかる学校だと思いました。いずれにしても、義務教育学校は今まで私達が想像していなかったような学校の形態ですので、希望のあるようなお話しもあり、私もそのように感じ取れましたが、これからの子ども達の在り方に関わる学校ですので、ざっくばらんに意見を出し合って、白鳥台地区に義務教育学校が必要であることについて、皆様のご意見をいただきたいと思います。

	これからの協議会におきまして、この地区の学校の方向性について協議して、子ども達のための学校、子ども達と地域が笑顔になれるような学校を目指していきたいと考えておりますので、皆様宜しくお願いいたします。 ただいま、教育委員会から、これからの学校づくりの報告書のことや義務教育学校のこと、配布資料についての説明がありました。義務教育学校については初めて聞いた方も多いと思いますが、疑問や確認したいこと、意見などありましたら、何でも構いませんので、宜しくお願いいたします。 ○パワーポイントの２３ページ目のところで、「一人一人の子どもを知り尽くす余裕がある」とあるのですが、今の学校の体制にはないのでしょうか。 市教委：今の学校でもあります。小学校だと担任の先生が中心になってしまい、担任の先生ももちろんしっかり見ているとは思いますが、義務教育学校になると小学校のクラスであっても授業に多くの先生が教科ごとに携わるので、Ａ先生が気づかなくてもＢ先生が「この子は元気がないのでは」と気づいたり、多くの目で見ることができるので、知り尽くす余裕があるというようにおっしゃっていました。 ○小学校１年生から３年生くらいまでは、国語と算数が専門の先生ではなくて担任の先生が見るということになっていると思いますが、白鳥台でつくろうとしているものも、そのような形になるのでしょうか。今の子ども達は言葉遣いも違ったりしているので、日本語自体を理解していないのに英語に３人の先生をつけて外国語を中心にしてしまうのはどうなのかなと思います。算数も、足し算や割り算などの基礎をしっかり教えた方が、高学年に向けて良いのではないかと考えます。 市教委：おっしゃるとおりです。読み・書き、計算などの勉強はすごく大事だと思います。こちらの紹介した学校は、まず担任の先生が国語、算数に入って、その子ども達と信頼関係をつくって学校に慣れてもらい、「毎日楽しく学校に来てほしい」「何か悩みはないか」など環境づくりをしています。職員室で授業に行っていない先生も、実は国語や算数の授業に入ってまして、手厚く教えていました。加えて、「英文にも力を入れていきたい」ということで、楽しく英語の授業にも力を入れていました。国語や算数も、複数人で丁寧に指導をしておりました。 ○現時点でも白蘭小学校と本室蘭中学校は隣接型に近い小中一貫教育ができると思います。以前から２校の先生達は交流があり、そういうところでは移動しやすいのかなとは思いますが、今年度から小学校１年生から中学校３年生まで１クラスになり、そこを考えていくとクラス替えがないままということですよね。人口減少も加味して最終的には１クラス１５人前後になるのかなと予測しております。そういうことも考えて、子ども達をどのように育てていくかということも加味しながら、一体型の義務教育学校に移行するのが良いと思っています。私的には、教育委員会もやっと小中一貫に進んでいくんだなと思いました。ずっと前から小中一貫にした方が良いと思っていましたので、まずは白鳥台地区をモデル地区として進めていくということは大事なことだと思います。先程の説明によると、義務教育学校になると先生を２名増えると言っていましたが、技術系と体育系にも先生がいるような形になっておりますが、技術や音楽、体育の先生というのは、必ず入るという意味合いで捉えてよろしいでしょうか。 市教委：専門性を必要とする先生は全教科に配置しようと考えております。 ○義務教育学校になった場合は、技術や音楽、体育の先生は確保できる、ということでよろしいですね。 市教委：そのように考えております。

	○今日初めて話しを伺い、検討委員会の検討結果の中身について色々な疑問はありますが、今の状況を考えれば、今後も同じようなことが続くだろうと十分理解しております。検討委員会の結果を一つずつ見ていくと、まず最初の項目の「本市における子どもたちの課題」のところでお聞きしたいのですが、「自分によいところがあると思う子どもが少ない」ことや「室蘭に愛着を持つ子どもが少ない」とありますが、我々大人もそういった質問をされてもなかなか答えられないと思いました。「自分のよいところは何なのか」といった課題に対して、検討委員会でどのような検討をされたのか、その基準や、特に、白鳥台地区における子ども達の課題についてとても気になります。私も小中一貫は今後必要だと思っておりますが、検討委員会の中で出た問題が、どういう形のことを申し上げて、少ない・多いと言っているのか。まだ小中学生が親元を離れていない中で、こういった課題があることは理解できますが、何となく大人の視点で見てしまう部分もありますので、例えば不登校の数値が高いなど、白鳥台地区で少しでもこのような問題が解決されることが望まれると思います。まずは、本市の子ども達の課題が非常に引っ掛かりましたので、教育委員会の方でも、検討委員会の中でこういった問題がクローズアップされているなどあれば教えていただきたいです。また、「愛着」という言葉は子どもには少し難しいのかなと思いました。小中の扱いとしての課題なのか、子どもとしての課題なのか、テーマをお聞きできたらと思います。 市教委：３、４番につきましては、こちらにもありますとおり、全国と比べての出現率となっておりますので分かりは良いかと思いますが、確かにこれだけ見てしまうと分かりにくく申し訳ございませんでした。補足させていただきますと、この２つに関して指標といたしましたのは、全国学力学習状況調査という小学校６年生と中学校３年生が毎年４月に行う調査を中心に分析を行ったものでございます。その中で子ども達が「自分にはよいところがあると思いますか」というアンケートに対して、その回答率を全国または全道と比べたものになります。ご指摘のとおり、確かに小さい子ども達にそういったことを問われたときに難しさというのはありますが、これを室蘭市全員の平均、全国との平均というところで比べていますので、ある一定の傾向というのは推し量れるのではないかと考えております。２つ目に関しても、地域に関する質問に対して、子ども達の答えが否定的までとはいかないものの肯定的に答える子どもが少なかったので、そういった傾向をお示ししたものととらえていただけたらと思います。 ○私はこれからの学校づくり検討委員会の委員として参加させていただいておりましたので、大沼岳陽学校にも見学させていただいて、内容をある程度把握している上で、要望として１点だけ挙げさせていただきたいと思います。これからの学校づくりに際して、地域とより連携してやっていくというところで、先程の目標のところで話しがあったかと思いますが、いただいた資料に目を通すと、どうしても学校の中の部分だけのことが非常に多い気がして、単純に小学校と中学校と一緒になったというところでこのままだと終わってしまうような気がします。もちろん小学校と中学校が一体となると、ここに記載されているようなメリットがあることを私も感じておりますので、地域的に施設一体型が良いのかなと思っています。ただ、町会や色々な会の皆様とどのように関わっていき、それをどのように学校にいる子ども達に還元していくのかというところが、具体的な話しになるのかもしれませんが、この資料では読み取れないと感じています。例えば、学校での授業は先程説明があったように専門の先生がつくなどメリットはあると思いますが、では地域の方が放課後どのように関わることができるのか、もしくは学校の授業に、地域の方々がより子ども達の成長のために、どのように関わっていけるのかというところを、もう少し全国の事例などを調べていただきながら、関わり方という部分を考えていきたいと思っております。先程の学校運営協議会でも、この地域ならでは、ほかの町と隣接していないためバスじゃないと行けないような地域ですので、逆にそれをメリットとして地域が密接できる地区だと思いますので、次の協議会の中で皆様で意見を出し合っていけばいいのかなと思います。 市教委：コミュニティスクールに係る部分が大きいかと思いますが、考えられることとしまして、学

校へ地域の方が１つの教室に常住していただいて、勉強のほかに書道や図工、技術など学習の支援に入っていただくことも考えられますし、保護者の方で悩みがある方がいれば相談にのっていただける場面もあったり、登下校の見守りも考えられるところです。是非、地域の皆様の持っている知識や技能を子ども達のために発揮していただけたらと考えております。教育委員会としましては、こちらから一方的にでなく、お互いに良い関係になることを目指しておりまして、学校からは、学校の施設や備品を地域の方に使っていただいたり、空いている教室があれば開放するなど、例えば、調理室で集まっていただいて皆様で作って食べていただいたり、体育館が空いていればスポーツをしていただくなど考えられます。また、子ども達が地域に出向いてお祭りに参加したり、または部活動の子ども達が花壇の雑草をとったり、雪かきをするなど、お互いが助け合って良い関係をつくって進めていけたらと考えています。

〇ありがとうございます。
時間が迫ってまいりました。様々な質問や意見がございました。本日は参加者の皆様、義務教育学校のイメージが湧きましたでしょうか。本日結論を出すというものではございませんので、教育委員会はこの地区に室蘭最初の義務教育学校を設置したいと考えております。皆様も義務教育学校のイメージを持って、次回の白鳥台地区の学校の形について、議論をこれからも深めていきたいと考えております。
限られた時間で集まってますので、質問・意見はもう少し簡潔にまとめていただきたいと思います。進行を事務局に渡したいと思います。

〇私も、最終的には白鳥台地区が他所と統合できるのは考えられませんし、こういう形になっていくと思っておりましたが、先程の大沼岳陽学校の話しを聞いて、悪いところがなくメリットばかりで不思議に思いました。校長先生の話しだからそうなるのかもしれませんが、その裏の地域の人や学校の先生方の話しなど、まだ表立っていないテーマがあると思うのです。教員の仕事はすごく忙しく、希望数がますます減っており、今年の小学校の倍率は１．５倍です。ということは、「教員に魅力がない」ということなんです。こんなに理想的な学校はできないのでは、と危惧しております。これについては調べてほしいと思います。

市教委：デメリットもおっしゃるとおりありまして、まず、小学校と中学校の両方を教えるということは、これまでも経験したことがないことで、両方の免許を持っている先生方を集めることや、戸惑いもあるということで、最初先生方を集める上で苦労されたという話しもしておりました。ただ、１、２年経ってくると、小学校の先生も、ずっと自分のクラスを見ているところから担当の教科を教えることになって、慣れると時間にも余裕が出てきて、今はだいぶ良くなってきたとおっしゃっておりましたが、他にもデメリットについて調べてみたいと思います。校長先生の話すデメリットのほかにも、全国的なメリット・デメリットについてお手元の資料にまとめておりますので、ご参考に見ていただけたらと思います。

市教委：夢のような話ばかりではないこともお伝えしなければいけないと思っております。最少人数になっていくと競争原理が働いてこないというデメリットがあるというのを伺っております。大きな学校になればクラス替えがあったり競争原理が働くというところが、少人数の学校になるとそういった原理が働かないことや、何か問題があったときにクラス替えができないというデメリットもあります。例えば、いじめをなくす努力は最大限していくのですが、仮にいじめが起きたときにクラス替えができると、次の学年に行くときに違うクラスにするといった対応ができるのですが、それができないといったデメリットもございます。また、普通の小学校ですと小学校６年生が小学校のリーダーとして、リーダー性が発揮されるのですが、小学校６年生のリーダー性を発揮させるような手法や工夫をしていかないと難しくなるというようなデメリットや、８、９年生が学校全体の上級生として、皆の憧れにならない

	といけないといった負担感を抱くような子どもも時々現れてくるというようなデメリットも伺っております。ほかにも、義務教育学校に良いことばかりではなく、当然そういったデメリットもございますので、帰られましたら資料をよく見ていただけたらと思います。宜しくお願いいたします。 ５．その他 ①坂口教育部長から今後のスケジュールについて説明。 ＜今後のスケジュール＞ ・本日の説明を広く地域住民に周知するため、１１月の平日夕方と土曜日に２回、地域説明会を実施。 ・地域説明会で出た意見を踏まえ、同月下旬に第２回目の協議会を開催。 ②委員から質問 〇質問や要望が出尽くした感がないと私は思っておりますが、時間が終わったから今回はこれで終わりということでしょうか？ 市教委：今後もまだご質問やご要望など承ってまいります。始まりの時間が遅くなってしまったので本日はここで切り上げさせていただいて、また次回伺いたいと思います。 〇本日の会議の質疑応答が始まったのが２０時１０分なのですが、それまでの間、無駄が多いのかなと思います。最初の自己紹介は一覧もあるし名札も出ているので不要かなと思います。また、子ども達の課題など重複されて説明されているところもあったので、省いていかないといけないと思います。もう少し質疑応答の時間が長くてもいいのかなと思います。 ＜協議会終了＞